



# アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド

## 愛称 ボンド・ストーリー

追加型投信／内外／債券

第15期(決算日2017年5月1日)

作成対象期間(2016年5月3日～2017年5月1日)

| 第15期末(2017年5月1日) |         |
|------------------|---------|
| 基準価額             | 16,346円 |
| 純資産総額            | 805百万円  |
| 第15期             |         |
| 騰落率              | 0.4%    |
| 分配金(税込み)合計       | 0円      |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド」は、このたび第15期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて世界各国の投資適格債券に投資し、相対的投資価値分析を基本としたアクティブ運用を行います。当期もこれに沿った運用を行ってまいりました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

お問合せ先 **お客様窓口**

電話番号 **03-3240-8608** (受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <http://www.abglobal.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法>

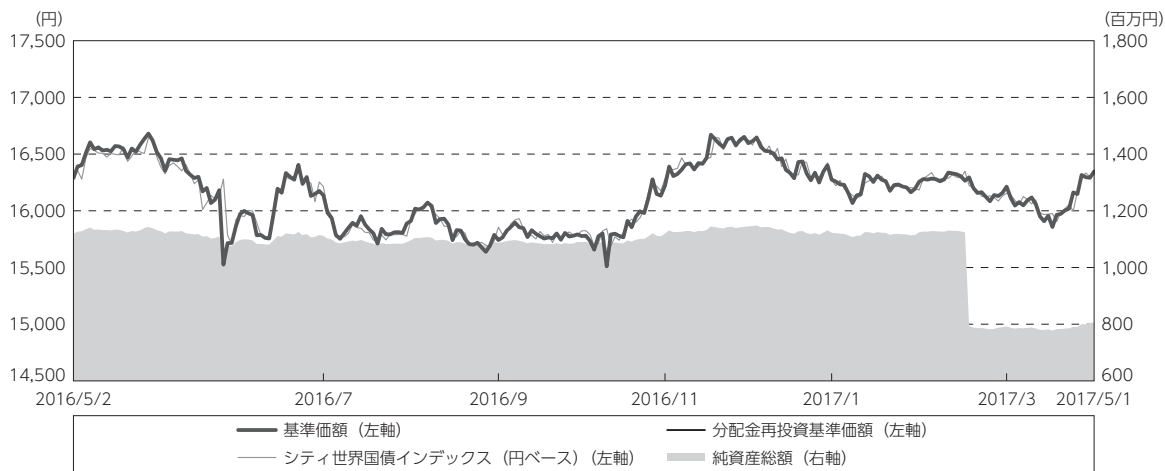
上記ホームページアドレスにアクセス ➡ 「基準価額一覧(国内投資信託)」を選択 ➡ 「債券型」の表内の当ファンド名を選択 ➡ 「運用報告書(全体版)」のリンクを選択

## 運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

(2016年5月3日～2017年5月1日)



期 首：16,288円

期 末：16,346円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 0.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 分配金再投資基準価額およびシティ世界国債インデックス(円ベース)は、期首(2016年5月2日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(円ベース)です。詳細は3ページをご参照ください。

### ○基準価額等の推移

基準価額(分配金(税込み)再投資)は前期末比0.4%の上昇となりました。一方、シティ世界国債インデックス(円ベース)は同0.4%の上昇となりました。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 【上昇要因】

- ・為替市場において円安ドル高および円安ユーロ高となったこと

#### 【下落要因】

- ・先進主要国の国債価格の下落

# 1 万口当たりの費用明細

(2016年5月3日～2017年5月1日)

| 項 目                   | 当 期   |         | 項 目 の 概 要                                          |
|-----------------------|-------|---------|----------------------------------------------------|
|                       | 金 額   | 比 率     |                                                    |
|                       | 円     | %       |                                                    |
| (a) 信 託 報 酬           | 204   | 1.260   | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率                           |
| ( 投 信 会 社 )           | ( 94) | (0.582) | 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価                       |
| ( 販 売 会 社 )           | (101) | (0.625) | 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価  |
| ( 受 託 会 社 )           | ( 9)  | (0.054) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                            |
| (b) そ の 他 費 用         | 4     | 0.026   | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                      |
| ( 保 管 費 用 )           | ( 2)  | (0.010) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| ( 監 査 費 用 )           | ( 2)  | (0.015) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                        |
| ( そ の 他 )             | ( 0)  | (0.000) | その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等                    |
| 合 計                   | 208   | 1.286   |                                                    |
| 期中の平均基準価額は、16,178円です。 |       |         |                                                    |

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

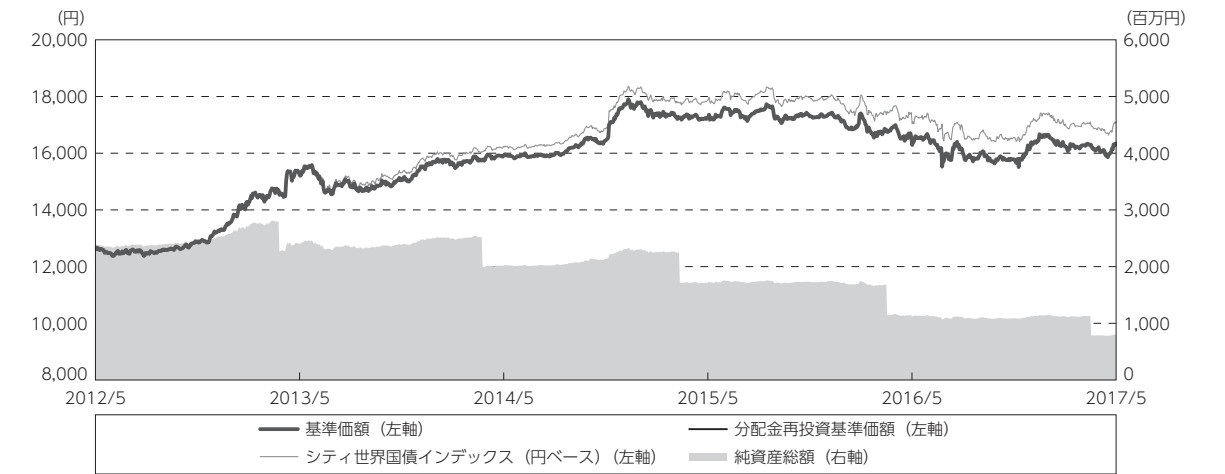
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近 5 年間の基準価額等の推移

(2012年5月1日～2017年5月1日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
(注) 分配金再投資基準価額およびシティ世界国債インデックス (円ベース) は、2012年5月1日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

|                              | 2012年5月1日<br>決算日 | 2013年5月1日<br>決算日 | 2014年5月1日<br>決算日 | 2015年5月1日<br>決算日 | 2016年5月2日<br>決算日 | 2017年5月1日<br>決算日 |
|------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円)                     | 12,644           | 15,203           | 15,922           | 17,359           | 16,288           | 16,346           |
| 期間分配金合計 (税込み) (円)            | —                | 0                | 0                | 0                | 0                | 0                |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%)            | —                | 20.2             | 4.7              | 9.0              | △ 6.2            | 0.4              |
| シティ世界国債インデックス (円ベース) 騰落率 (%) | —                | 20.7             | 6.3              | 10.7             | △ 5.1            | 0.4              |
| 純資産総額 (百万円)                  | 2,381            | 2,406            | 2,023            | 1,734            | 1,119            | 805              |

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。  
(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。  
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
(注) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス (円ベース) です。

●ベンチマークに関して  
シティ世界国債インデックス (円ベース) とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。

## 投資環境

(2016年5月3日～2017年5月1日)

当期は、先進国の国債金利は好調な経済指標を背景に価格が下落（利回りは上昇）しました。また、為替市場では2016年後半からは円安ドル高が進行しました。

### 【米国国債】

米国国債は、2016年6月にイギリスの欧州連合（E U）離脱決定を受けて、価格は上昇（利回りは低下）しましたが、イギリス情勢が早期に安定化したことなどから、その後価格は下落に転じました。11月に入ると、米国大統領選挙にてトランプ氏が勝利したことを受けて、米国経済の回復への期待が高まり、価格は大きく下落しました。2017年以降は、米連邦準備理事会（F R B）による利上げ期待から価格は下落しましたが、利上げが決定された3月後半以降は、今後の利上げペースの加速に慎重な姿勢が示されたことや、北朝鮮における地政学リスクが高まったことなどを受けて価格は上昇しました。

### 【欧州の国債】

欧州の国債のうち、ドイツ国債については、イギリスのE U離脱決定や米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利などに大きく影響され、米国国債とおおむね同様の動きとなりました。2017年以降は、フランス大統領選挙に伴う政治リスクをはじめとする欧州の政治不安や、欧州中央銀行（E C B）による金融緩和縮小の可能性などに左右される不安定な展開となりました。

### 【日本国債】

欧米金利の上昇や日本銀行（日銀）による量的緩和政策の維持を受け、価格は下落しました。

### 【為替市場】

円ドル・レートは、2016年6月にイギリスのE U離脱決定を背景に世界的なリスク回避の動きが強まり、円高ドル安が進行しました。その後、レンジ内での動きが続きましたが、11月の米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、12月中旬にかけて円安ドル高が大きく進行しました。2017年以降は、米国政策金利の利上げ期待から円安ドル高となる場面もありましたが、米国トランプ政権の保護主義的な政策への懸念などから、円高ドル安基調で推移しました。円ユーロ・レートは、円ドル・レートと同様の動きとなり、2016年6月以降、円高ユーロ安からレンジ内の動きが続いた後、11月以降は円安ユーロ高が進行しました。2017年以降は欧州の政治リスクの高まりなどを受けて、安全資産とされる円の需要が高まり、円高ユーロ安が進行しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2016年5月3日～2017年5月1日)

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格格付の公社債へ投資することにより、信託財産の成長を図ることを目的としています。当ファンドは外貨建資産について、原則として為替ヘッジは行わないこととしています。

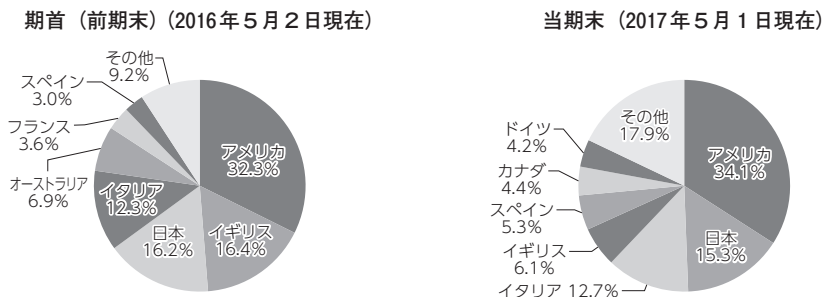
当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

### ＜マザーファンド＞

世界各国の投資適格債を対象に調査チームによる相対的投資価値分析を基本としたアクティブ運用を行います。運用にあたっては、当期も引き続き、ファンダメンタル分析と計量分析を融合した運用判断に基づき、相対的に高い収益が期待される国、債券セクターや銘柄に対して機動的に資産配分を行いました。

その結果、先進国の国債では、相対的な魅力度の観点から引き続き日本を低めの組入れとし、低インフレが長期化するとみられ、更なる利下げの可能性があるオーストラリアを高めの組入れとしました。ユーロ圏については、ドイツ、スペインなどを買い増した一方、フランスを一部売却したほか、オランダを全て売却することで全体としては低めの組入比率を継続しました。一方、イギリスについては、EU離脱決定などから、当面利上げは行われないと予想し、高めの組入れを継続しました。社債については、投資適格社債については、企業ファンダメンタルズは全般には良好であるものの、セクターにより差異が生じているため、投資機会を見極めながら組入れを継続しました。セクター別では金融セクターや公共セクターなどを買い増した一方、エネルギー・セクターなどを一部売却したほか、食品・飲料・タバコ・セクターなどを全て売却しました。

### 《マザーファンドの国別組入比率》



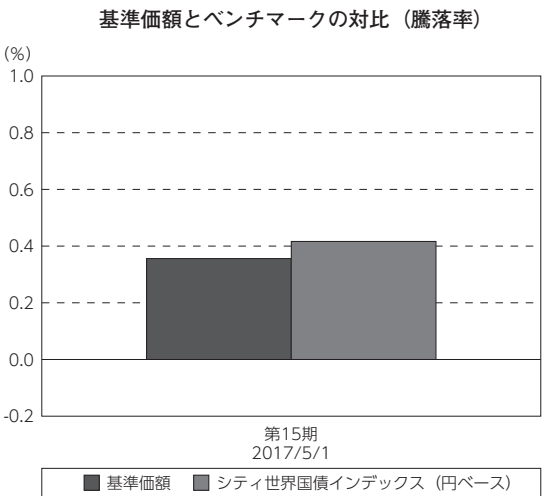
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合（小数第2位を四捨五入）。

(注) 国別比率は発行国を表示。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年5月3日～2017年5月1日)

ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいて、インフレ連動債や投資適格社債を組み入れたセクター配分、日本を低めの比率とした国別配分、メキシコペソを高めめの比率とした通貨配分などが主なプラス要因となりました。一方、ユーロ圏国債の銘柄選択などが主なマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。  
(注) ベンチマークは、シティ世界国債インデックス (円ベース) です。  
詳細は3ページをご参照ください。

分配金

(2016年5月3日～2017年5月1日)

当期の収益分配については、信託財産の成長を目指す観点から見送ることといたしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目       | 第15期<br>2016年5月3日～<br>2017年5月1日 |
|-----------|---------------------------------|
| 当期分配金     | —                               |
| (対基準価額比率) | — %                             |
| 当期の収益     | —                               |
| 当期の収益以外   | —                               |
| 翌期繰越分配対象額 | 7,433                           |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。

## 今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

イギリスのEU離脱による世界経済への影響は軽微なものに留まり、米国経済の成長が加速することで、引き続き安定した成長を維持すると考えています。米国経済は、国内経済は引き続き回復基調にあることから、FRBは、労働市場の回復や世界経済のリスクを見極めながら利上げを継続すると予想しています。また、トランプ政権による今後の具体的な政策運営について注視する必要があると考えます。欧州経済は、イギリスのEU離脱による影響は留意する必要がありますが、ユーロ安やECBによる金融緩和などを背景に、景気後退には至らず、緩やかな景気回復が続くとみています。ECBは2016年12月に金融緩和政策を継続する方針を示しており、金融緩和は長期化すると予想しています。日本経済は、引き続き金融・財政政策の支えにより景気は緩やかに回復すると予想しています。また、当面は緩和的な政策を継続するとみています。

上記のような見通しの下、国債については、日本については、相対的な魅力度の観点から組入れを低めとするほか、ユーロ圏についても、主要国を中心に組入れを低めとする方針です。投資適格社債については、企業ファンダメンタルズは全般には良好であるものの、セクターにより差異が生じているため、投資機会を見極めながら組入れを継続する方針です。

※上記は決算日時点での見通しおよび運用方針であり、今後予告なしに変更することがあります。また、市況の変動等により方針どおりの運用が行われない場合があります。

## お知らせ

該当事項はございません。

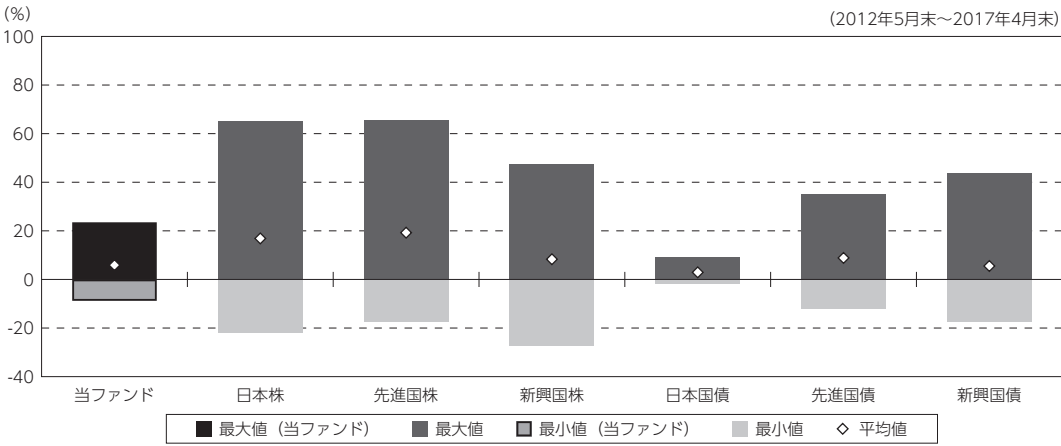


当ファンドの概要

|         |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／内外／債券                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                               |
| 信 託 期 間 | 無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じたときは、信託契約を解約し、信託を終了（償還）させることがあります。                                                                                                                                            |                                                                                                                                               |
| 運 用 方 針 | 世界各国の投資適格格付けの公社債を主な投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。                                                                                                                                              |                                                                                                                                               |
| 主要投資対象  | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド                                                                                                                                                                     | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。                                                                                              |
|         | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド                                                                                                                                                                  | 世界各国の投資適格格付けの公社債（以下、「投資適格債」といいます）を主な投資対象とします。原則として、取得時に格付機関により投資適格格付け（BBB 格以上）を得ている公社債としますが、格付けを得ていない場合でも、委託者が投資適格債に相当すると判断した場合は投資を行う場合もあります。 |
| 運 用 方 法 | ①マザーファンドを通じて、世界各国の投資適格債に投資します。<br>②調査チームによる相対的投資価値分析を基本としたアクティブ運用を行います。<br>③運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。<br>④実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。<br>⑤ファミリーファンド方式で運用を行います。                           |                                                                                                                                               |
| 分 配 方 針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。<br>①分配対象額は、経費控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。<br>②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。<br>③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行います。 |                                                                                                                                               |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

|     | 当ファンド | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債  | 先進国国債  | 新興国債   |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 23.5  | 65.0   | 65.7   | 47.4   | 9.3   | 34.9   | 43.7   |
| 最小値 | △ 8.8 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | △ 1.8 | △ 12.3 | △ 17.4 |
| 平均値 | 5.9   | 16.9   | 19.2   | 8.3    | 2.9   | 8.9    | 5.5    |

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2012年5月～2017年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株……TOPIX (東証株価指数、配当込み)
- 先進国株……MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株……MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債……NOMURA - BPI 国債
- 先進国国債……シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

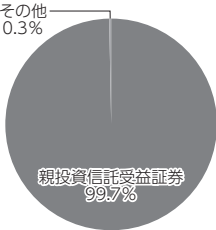
組入資産の内容 (2017年5月1日現在)

組入ファンド

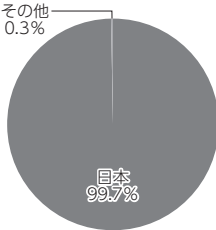
| 銘柄名                              | 第15期末     |
|----------------------------------|-----------|
| アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド | %<br>99.7 |
| 組入銘柄数                            | 1銘柄       |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

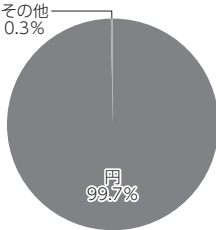
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

| 項目         | 第15期末        |
|------------|--------------|
|            | 2017年5月1日    |
| 純資産総額      | 805,811,053円 |
| 受益権総口数     | 492,964,075口 |
| 1万口当たり基準価額 | 16,346円      |

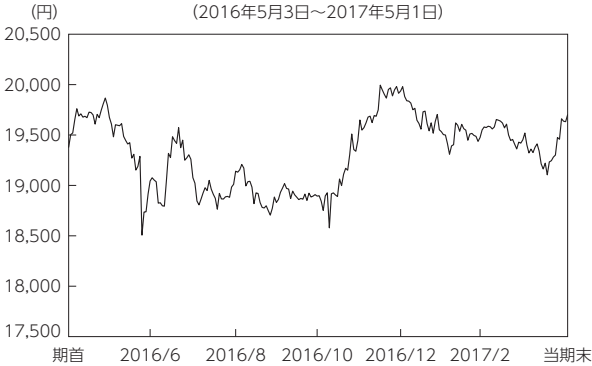
(注) 期中における追加設定元本額は65,688,979円、同一部解約元本額は259,886,527円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年5月3日～2017年5月1日)

| 項 目           | 当 期 |         |
|---------------|-----|---------|
|               | 金 額 | 比 率     |
|               | 円   | %       |
| (a) そ の 他 費 用 | 2   | 0.010   |
| ( 保 管 費 用 )   | (2) | (0.010) |
| ( そ の 他 )     | (0) | (0.000) |
| 合 計           | 2   | 0.010   |

期中の平均基準価額は、19,383円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
- (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

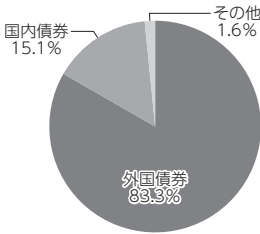
【組入上位10銘柄】

(2017年5月1日現在)

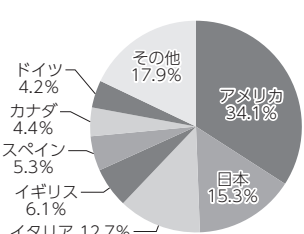
|       | 銘 柄 名                                    | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨   | 国（地 域） | 比率  |
|-------|------------------------------------------|-------------|-------|--------|-----|
|       |                                          |             |       |        | %   |
| 1     | US TREASURY 1.125% 2021/7/31             | 国債証券        | 米ドル   | アメリカ   | 5.8 |
| 2     | US TREASURY 1.125% 2021/2/28             | 国債証券        | 米ドル   | アメリカ   | 5.0 |
| 3     | 第21回利付国債（物価連動・10年）                       | 国債証券        | 円     | 日本     | 4.1 |
| 4     | US TREASURY 2% 2026/11/15                | 国債証券        | 米ドル   | アメリカ   | 2.8 |
| 5     | BUONI POLIENNALI DEL TES 1.35% 2022/4/15 | 国債証券        | ユーロ   | イタリア   | 2.5 |
| 6     | 第150回利付国債（20年）                           | 国債証券        | 円     | 日本     | 2.4 |
| 7     | CANADA HOUSING TRUST 3.8% 2021/6/15      | 特殊債券        | カナダドル | カナダ    | 2.2 |
| 8     | BUONI POLIENNALI DEL TES 4.5% 2018/8/1   | 国債証券        | ユーロ   | イタリア   | 2.0 |
| 9     | US TSY INFL IX N/B 0.125% 2020/4/15      | 国債証券        | 米ドル   | アメリカ   | 2.0 |
| 10    | US TSY INFL IX N/B 0.125% 2019/4/15      | 国債証券        | 米ドル   | アメリカ   | 1.9 |
| 組入銘柄数 |                                          |             | 156銘柄 |        |     |

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
- (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

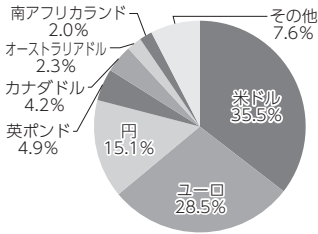
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

| 【直物為替先渡取引残高】 |           | (2017年5月1日現在) |        |       |        |
|--------------|-----------|---------------|--------|-------|--------|
| 銘 柄 別        |           | 取引契約残高        |        |       |        |
|              |           | 当期末想定元本額      |        |       |        |
|              |           | 買 建           |        | 売 建   |        |
|              |           | 外貨建金額         | 邦貨換算金額 | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| 米ドル          |           | 千米ドル          | 百万円    | 千米ドル  | 百万円    |
|              | (インドルピー)  | 2,342         | 261    | —     | —      |
|              | (ロシアルーブル) | —             | —      | 813   | 90     |

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。